

みなとオアシス函館を構成する

主な施設

国際水産・海洋都市構想の研究拠点基地となるセンターで、旧函館ドック跡地に、国・大学・道・民間などの学術研究機関が集積した複合的な研究施設として「国際水産・海洋総合研究センター」を整備し、港湾機能と一体となった一大水産・海洋研究ゾーンを形成します。



国際水産・海洋総合研究センター

☎0138-21-4700 (函館市国際水産・海洋総合研究センター)
函館市弁天町20-5



緑の島

☎0138-21-3493 (函館市港湾空港部)
函館市大町15

函館港の整備によって発生した浚渫土砂を使用して作られた小さな人工島。対岸には新島裏委海岸渡航記念碑が建っており、それにちなんで「新島橋」で本土と繋がっている。函館の観光名所である元町地区のすぐ前にあり、緑の島からは函館港やベイエリアを一望の下に見渡すことができます。



函館朝市(若松地区)

☎0138-22-7981 (函館朝市協同組合連合会事務局)
函館駅周辺

みなとオアシス 函館 エリアの若松地区に位置する函館朝市では、食材の宝庫・北海道の「旬」の美味しさがすべてそろいます。はじめに目利きの店主たちが選びぬいた良質な品を十分に堪能しみなとオアシス 函館巡りをしたいいかがでしょうか。



赤レンガ倉庫群

☎0138-27-5530 (赤レンガ倉庫総合インフォメーション)
函館市末広町14-12

みなとオアシス 函館には毎年何隻ものクルーズ客船が寄港し、優美な姿が人気を集めています。その際に利用するのが西ふ頭です。客船が入港した時には、歓迎セレモニーや船内見学会、物販なども行われます。是非、洋上の楽園と呼ばれる華やかな世界に触れて下さい!



西ふ頭

☎0138-21-3493 (函館市港湾空港部)
函館市西ふ頭1-1

Sea級グルメ

イカ飯



函館市の魚は「イカ」。イカ飯は、そのおいしいイカの足と内臓を抜き取り、中にお米や餅米を詰め込んで、お醤油、砂糖、酒などで味付けをし、じっくりと煮込んで作ります。イカ飯は、お祝い事や来客があるときに作られる「家庭の味」ですが、冷めてもおいしいので、お弁当やイベントなどでも活躍しています。

ごっこ汁



最近テレビの旅番組でも、ぷっくり愛らしい姿で注目を集めている珍魚「ごっこ」。何といっても評判は、コラーゲンたっぷりのプルプルした身が入った「ごっこ汁」です。

お土産はコレ!

がごめ昆布



函館周辺の限られた海域で主に生育している「がごめ昆布」。昆布といえばだしをとるもの、という常識をくつがえして、驚異的な粘りをもつ昆布そのものをモリモリ食べるスタイルが人気を呼んでいます。みなとオアシス 函館観光のお土産にいかがですか?

みなとのおすすめ Point

みなとオアシス 函館のエリアは、始米文化の上陸地です。安政5(1859)年、横浜、長崎とともに日本最初の国際貿易港として開港し、異国の文化が上陸した函館港。ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンでも星が付いた「函館港の散策」がおすすめです。ゆっくり散策すると、街のあちろちらに観光スポットが点在し、新たな発見があるかも。



みなとオアシス

オホーツク海屈指の良港より発信!

もんべつ



豊かな自然環境を活用した賑わい創出と地域活性化の継続した取り組みによって、流氷観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」の発着ターミナルでもある「海洋交流館」を中心に世界初となる氷海展望塔「オホーツクタワー」とその周辺に位置する第3防波堤「クリオネプロムナード」等の港の施設を活用した交流拠点づくりを推進していきます。また、もんべつ観光港まつりの会場となる「氷紋の駅」、「オホーツク交流センター」や「道立オホーツク流氷公園」などが位置するオアシス連携地区とも相互に情報共有、発信することにより、みなとに賑わいを呼び込み、人々の交流・ふれあい拠点づくりを進めています。

登録日
平成26年1月24日

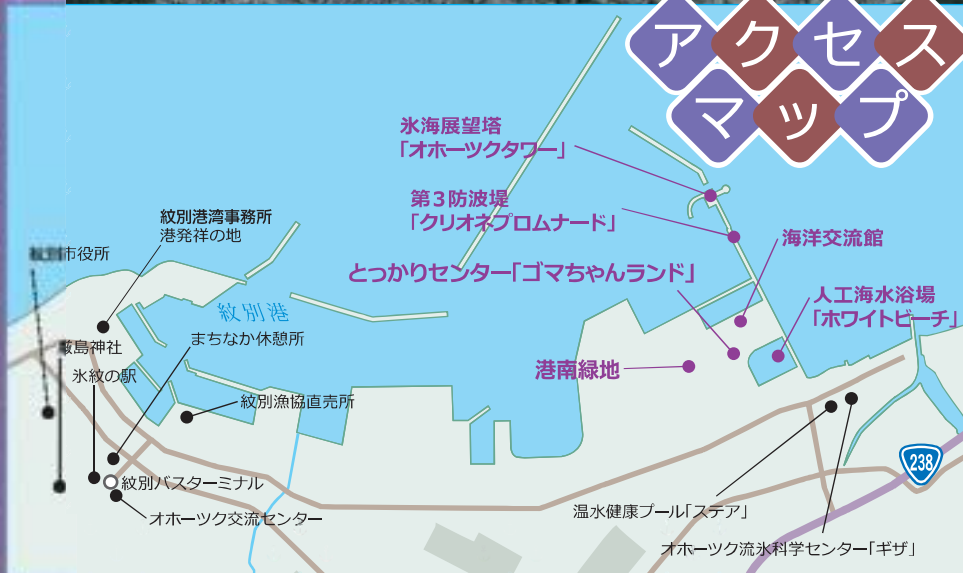
関連港湾
紋別港

エリア図



■ : みなとオアシス代表施設
■ : みなとオアシス構成施設

アクセスマップ



インフォメーション

登録申請者 紋別市 運営体制 みなとオアシスもんべつ運営協議会 問合せ 紋別市建設部港湾課 住〒094-0012 紋別市新港町2丁目28番2 電 0158-24-2828
URL https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kk/kou_kei/ud49g700000ttay.html

交通アクセス

徒歩 自転車

紋別バスターミナルからみなとオアシスエリア(港南緑地)まで、車で約10分。徒歩で約40分。

※海洋交流館からオホーツクタワーまでは無料電気自動車も運行

みなとオアシスもんべつを構成する

主な施設



海洋交流館(ガリンコ号ターミナル)

☎0158-24-8000 (オホーツク・ガリンコタワー株)
函根別市海洋公園1番地

「海洋交流館」は、1年を通して流水観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」が発着するターミナルです。「海洋交流館」と「オホーツクタワー」間には電気自動車「クリンク号、紋太号」などが無料運行しており、施設内には観光案内所や地元海産品の販売も行われています。



オホーツクタワーまで続く全長517mの第3防波堤「クリオネプロムナード」では、施設全長に手すりが設置されており、また、流水の生成過程を表現した壁面レリーフや潮のみちひきを利用してアザラシの鳴き声を再現する「とっかりの笛」が配置された遊歩道が整備されており、海とふれ合いながら散策することができます。



第3防波堤「クリオネプロムナード」

☎0158-24-8000 (オホーツク・ガリンコタワー株)
函根別市海洋公園1番地先

人工海水浴場「ホワイトビーチ」は、夏季において市民や観光客の憩いの場であり、ビーチバレーやビーチサッカー等のスポーツも楽しめます。脱衣場、トイレ、シャワーなどもあり、気軽に海水浴を楽しむことができます。



氷海展望塔「オホーツクタワー」

☎0158-24-8000 (オホーツク・ガリンコタワー株)
函根別市海洋公園1番地先

オホーツクタワーは世界で唯一海中観測窓から流氷下の海の様子を見ることが出来る国内最大規模の流氷と海の生き物の自然体験・観測施設です。深さ7.5mの海底階では、オホーツク海の珍しい魚を展示しており、3階はオホーツク海を一望する360度のパノラマ展望台となっています。



人工海水浴場「ホワイトビーチ」

☎0158-24-8000 (オホーツク・ガリンコタワー株)
函根別市海洋公園2番地

オホーツクの大自然を舞台に、アザラシだけを飼育している国内では他に無い施設です。昭和62年に4頭から始まり、現在は20頭を越えるアザラシが飼育されています。ここでは、アザラシの鑑賞・観察・体験としての機能と怪我や網にからまって保護されたアザラシを治療し、自然の海へ帰す等の保護センターの機能も有しています。



とっかりセンター「ゴマちゃんランド」

☎0158-24-8000 (オホーツク・ガリンコタワー株)
函根別市海洋公園2番地

Sea級グルメ

ホタテみそ焼きうどん



オホーツクの流水の下で育った新鮮な紋別産ホタテ、北海道産うどん、野菜に、ソースなどで味付けした甘酸っぱい特製味噌により香ばしく焼き上げました。地元紋別で開催された第11回Sea級グルメ全国大会でグランプリを獲得した一品です。

カニ甲羅盛り



カニの甲羅にカニ味噌とカニの身を詰め込んだ贅沢な一品です。一つ食べればカニを丸ごと満喫でき、最後は甲羅酒で余すことなくどうぞ。ズワイと毛ガニタイプがあり、中にご飯が入っているものもあります。市内の居酒屋などで食べられますので、是非ご賞味ください。また、お土産として販売店でお買い求めもできます。

お土産はコレ!

ホタテステーキ



オホーツク紋別の流水の海で育ち、大自然のうまみと栄養たっぷりの貝柱を贅沢に使ったステーキです。バターで焼いてレモン汁、タルタルソース、ドレッシングで食べると口の中にホタテの風味が広がります。また、カレーやシチューの具材や、フライ、ホタテバーガーなどにも幅広く使えるのが人気です。

みなとのおすすめ Point

みなとオアシスもんべつは、紋別海のシンボルであります流水観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」の発着ターミナルである海洋交流館を中心に、見学、体験など楽しめる各施設が集中しており、子供から大人まで満足できます。また、エリア内ではオホーツクの新鮮な魚介類のお食事、お土産などをお買い求めすることができます。